

呼気、口腔内のほか、鼻咽喉内が測れる 新しい概念の高感度ガス測定システム、リフレス^{*}。

チェアサイドで簡便に、高信頼の“口臭ガス”モニターです。

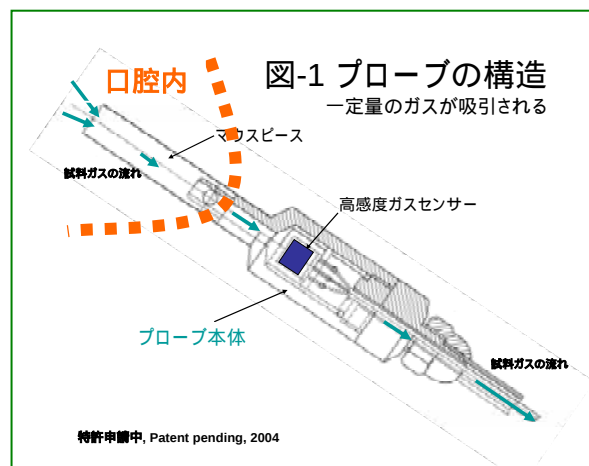


リフレス III BAS-100 の主な仕様

検出原理	全ガス検出タイプ・高感度半導体ガスセンサ
測定対象	呼気、口腔内、鼻咽喉内ほか
ガス採取量	約 15ml / 5 秒
滅菌フィルタ	0.22 μ m (適宜交換可)
結果の表現	リフレス値 = 0-100 を 100 分割表示
記録	プリンター内蔵
電源	AC100V 50/60Hz 5W、ACアダプター使用
寸法・重量	255 x 120 x 45mm、約 1 Kg (本体のみ)

従来にない新・機能と特徴

1. 先端プローブ方式(特許申請中)で、迅速・高信頼の測定が可能
- 微量ガス吸引のため、各部位ガスを逃さずキャッチできます
2. 全ガス検出方式で、独自の判定値(RV)を定めています
3. 嗅覚感度(ウェーバーフェヒナー則)に似せた、ガス感度です
4. 滅菌フィルター常備で、より清潔に、より安全です
5. 測定結果は、同時に印字・記録します
6. 誰でもすぐに使いこなせる、対話式の簡単操作です



■ より客観的な情報を得るために、三通りで測ってみる！ より徹底したフォローができます。

1. 呼気測定モード



15 秒の息堪えの後、10 秒間で吐き出します。
自動的に終末呼気を定量採取し、10 秒後に
結果が表示されます。

2. 口腔内測定モード



3 分間の口腔閉塞の後、口腔内にマウスピ
ースを挿入します。“ピッピ”のリズムに合わせ
て測定します。

3. 鼻・咽喉内測定モード



適切なカテーテルをつければ、口腔内・咽喉・鼻
腔内など、特定部位のガスを測定できます。



健康開発工房ミトレベン研究所

www.mitleben.com

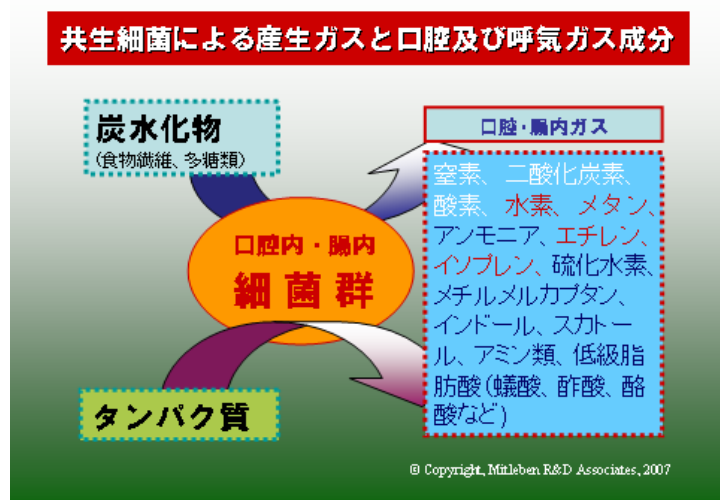
info@mitleben.com

(*) <http://www.mitleben.com/jbas/jbas/bas100.html>

リフレス活用の手引き

リフレス測定とは・・・

リフレスは、口腔内あるいは呼気中の微量ガス成分をトータルで検出し、その出力の合算がリフレス値として表示します。生体ガス中ガス成分は、図に示すように多くは共生細菌の生産物です。



口腔内ガス測定は、口腔ケアの指標として、また、呼気中ガス測定は腸内活動度の指標として、有用です。

リフレス値とその読み方

口腔リフレス値 (OR 値、Oral Refres Value)

口腔ケアの指標として有用です。正常 OR 値は、30 - 40 で、OR 値が低いほど細菌数（活動度）が低く、口腔内が清浄であることを示します。これが高くなりますとどこかに細菌増殖の要因が考えられ、口腔内ケアの必要が考えられます。

呼気リフレス値 (BR 値、Breath Refres Value)

主に腸内細菌の活動度を示します。正常 BR 値(空腹時)は、30 - 40 ですが、これは飲食、喫煙後に大きく影響され高値を示します。

一般に、BR 値は一日の変動は大きく空腹時に低く、食後 2 時間後から高くなるという「日内変動」があり、頃合いに変化するものが正常な消化管活動であると考えられています。

しかし、BR 値がいつも低いときは消化管活動が低下している(便秘?)、また、いつも BR 値が高い場合は軟便、下痢気味であることが考えられます。

自臭症患者に有用な、こんな使い方

口臭を訴える患者さんに対しては、主訴の「口臭」を認知することが診療においてキーポイントとなります。リフレス III は無臭ガス(水素、エチレン、イソプレンなど)を高感度に感知できることから、患者の訴え(無臭ガス知覚症候群)を的確に捉えることが可能となります。

すなわち、コンパクトで誰でも測定ができるリフレス III による自己測定(Self Monitoring)で、それが容易に実現できます。これは、リフレスにしかない一大特徴と言えます。

*)判りやすい説明書(冊子)を用意しております。また、「口臭と計測」(口臭治療に役立つ基礎知識)もご参考にしてください。

リフレス III に関する資料のご請求、お問合せは、下記までご連絡ください。

発売元 **健康開発工房ミトレベン研究所**

製造元：株式会社アドニス電機

〒560-0001 大阪府豊中市北緑丘 2-1-23-1205

e-mail: info@mitleben.com Fax: 06-6855-7746